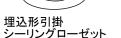
## 器具を取り付ける前に

●天井にこのような配線部品がついている場合は、ご家庭でも手軽に器具が取り付けられます。









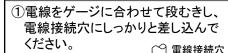
天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事 店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。

②角形シーリングボディに付いているなべ皿木ねじで

\*しろうと工事は危険です。 必ず守る また、法律で禁じられています。

## シーリングボディ 電気工事店(有資格者)のかたへ

●角形引掛シーリングボディを取り付ける場合は次の方法で行ってください。



適用電線 φ1.6 または φ2.0 単線

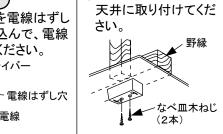


\*なべ皿木ねじは、あらかじめはずして おいてください。

# 解除のしかた

●⊖ドライバーを電線はずし 穴に強く差し込んで、電線 をひっぱってください。 ∕ Ѳドライバー

- 電線



野縁などの補強 材のある所に取 り付ける。 必ず守る

> \*補強材のないところに取り付けると器具の落 下によるけがの原因と なります。

## 各部の名称

#### 図は取り扱いを説明するために、一部省略抽象化した共通図です。

●下図を参照して、各部品をお確かめください。

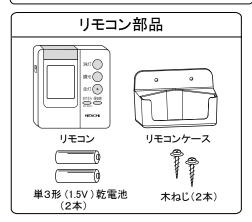
## 本体を取り付ける前に・・・

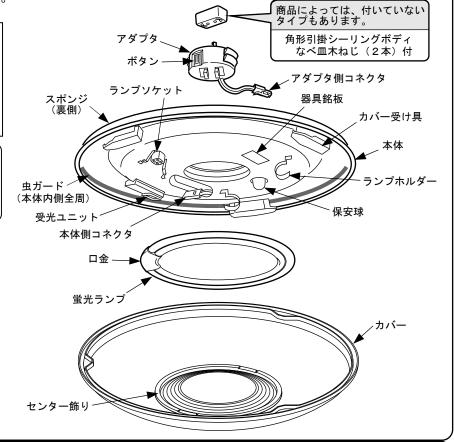
- ●蛍光ランプなどを固定しているテープ をはがしてください。
- ●アダプタに付属の角形引掛シーリング ボディがついている場合は、アダプタ のボタンを押しながら左方向へ回して はずしてください。



本体裏側のスポンジや虫ガー ドを剥がさない。

\*本体の回転防止や防虫効果を 必ず守る 得るために付いています。





## 器具の取り付けかた

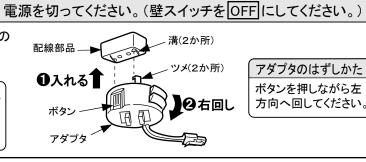
#### 1. アダプタの取り付け

●配線部品(引掛シーリングボディなど)の溝にアダプタの ツメを入れ、右方向にいっぱいまで回してください。 (ロックが掛かり固定されます。)



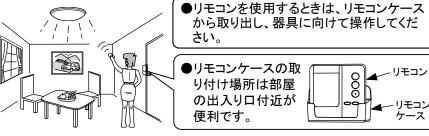
取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、 はずれないことを確認する。

\*取り付けが不完全な場合、器具の落下による 必ず守る けがの原因となります。



## リモコンケースの使いかた

●リモコンをなくさないように、置き場所として壁などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。



## リモコンケースの取り付けかた

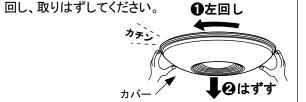
●リモコンケースの位置を決め、付属の木 ねじ2本でしっかり取り付けてください。



# カバーのはずしかたおよびランプの交換方法

①電源を切ってください。(壁スイッチを「OFF」にしてください。)

②カバーを押し上げたまま左にカチンと音がするまで



③蛍光ランプをランプソケットからはずしたのち、ランプホルダーから はずしてください。

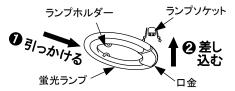
ランプホルダー ノランプソケット **①**はずす 蛍光ランプ

蛍光ランプは 熱いので触ら 接触禁止 ない。

\*やけどの原因となります。

消灯直後の

4 交換用蛍光ランプをランプホルダーに引っかけ、口金をランプソケットに差し込んで取り付けてください。



必ず守る

●口金がランプソケットに確実に差し込まれているか

●ランプソケットに合わせて確実に接続する。

押して確認する。

\*接続が不完全な場合、火災の原因となります。

⑤リモコンまたは、壁スイッチで点滅操作をおこない点灯確認してください。

\*蛍光ランプが点灯している状態、または、蛍光ランプが切れて通電されている状態でランプ交換をした場合、 交換した蛍光ランプは点灯しませんので必ず点滅操作をおこない点灯確認してください。

⑥カバーを取り付けてください。(3ページ、(3. カバーの取り付け)をご参照ください。)

#### 常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れしてください。

■お手入れの際や、蛍 光ランプなどの交換 の際は、必ず電源を 切る。

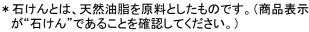
OFF

必ず守る



#### ■器具のお手入れ

●器具が虫やほこりなどで汚れましたら、乾いた柔らかい布 で軽くはたき落とす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布 に石けん水を浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔ら 必ず守る かい布で仕上げる。



- ●カバー内面は傷つきやすくなっているので取り扱いに は十分注意する。
- ●みがき粉・ベンジン・ 合成洗剤・化学ぞう きんでふいたり、熱湯 や殺虫剤をかけない。

日立ペア

ルミック85

形をお求め

ください。



\*割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。

## ■蛍光ランプ取り扱い上のご注意

●点灯時及び消灯直後は、蛍光ラ ンプが熱くなっていますので、触 らない。





\*やけどの原因となります。

●ランプホルダーをランプに 強く当てない。





\*ランプが破損し、けがの原因となります。

## ■蛍光ランプの交換時期について

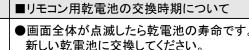
\*電源を切らないと感電の

原因となります。

A

口金付近が全周にわたって 黒ずみ明るさが低下しました ら寿命ですので、新しい蛍光 ランプとお取り替えください。

\*なお、調光で点灯した場合、 比較的早い時期に黒い斑点 が発生することがありますが、 所定のランプ照度や寿命性能 は満足しますので、そのまま ご使用ください。



※画面の表示が消えましたら、すべての設 定が消去されますので、再び設定をして ください。



必ずアルカリ乾電池を使用 する。 \*アルカリ乾電池以外は、正常

必ず守る 動作しない場合があります。



種類が違う乾電池や新旧の乾電池を混ぜて使用しない。 ・充電式電池は使用しない。

寿命になった乾電池は可燃ゴミに混ぜたり燃やしたりしない。 \*乾電池の誤った使いかたは、液漏れや破損の原因となります。